



2025 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 ローム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 社長執行役員
東 克己
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者 広報 IR 部 統括課長 後藤 辰英
(TEL.075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025 年 5 月 13 日に公表した 2026 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想値の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	440,000	4,000	11,000	7,000	18.14
今 回 修 正 予 想 (B)	460,000	5,000	11,000	9,000	23.31
増 減 額 (B - A)	20,000	1,000	0	2,000	-
増 減 率 (%)	4.5	25.0	0	28.6	-
(参 考) 前 期 実 績 (2025 年 3 月期)	448,466	△ 40,061	△ 29,698	△ 50,065	△ 129.78

2. 修正の理由

世界経済は緩やかな回復に向かいつつありますが、米国の関税措置の動向をはじめとする地政学的リスクの高まりを背景に、成長の鈍化と物価上昇が懸念されます。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の推進に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などが中長期的には順調に推移するものと思われます。

足元においては、自動車市場ではSiCデバイスがxEV向けの成長をけん引する一方で、インフォテインメント向けなどは調整局面が続いております。産業機器市場では、サプライチェーンにおける在庫調整はおおむね解消されたものの、FA向けは依然として低調に推移すると予想されます。民生機器市場においては、アミューズメント向けの季節要因による減少に加え、上期に好調だった白物家電向けが下期は減速する見込みです。コンピュータ&ストレージ市場においては、パソコンやサーバー、周辺機器向けに持ち直しの動きがみられる一方で、決済端末向けや事務機向けは調整局面に入る見通しです。

全体として第3四半期以降の売上高は低調となる見通しですが、上期の売上高が堅調だったことから、通期の売上高については期初の想定を上回る見込みです。一方、原材料の一つである金の価格が歴史的な高騰を記録しております。当社グループでは金から銅への材料変更や価格転嫁といった対策を進めておりますが、利益水準の悪化が予想されま

す。以上のような状況を踏まえ、2026 年3月期の通期連結業績予想につきまして、上記のとおり修正いたします。

なお、下期の為替レートは、1 米ドル＝140 円を前提としております。

＜業績等の予想に関する注意事項＞

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上